

豊かで安全な暮らしと環境の調和をめざして

# 「建設技術フェア 2012in中部」

10月25日・26日中部技術事務所構内特設会場で開催された「建設技術フェア2012in中部」(建設技術フェアin中部実行委員会主催)には、地震・津波、豪雨などの災害対応に貢献する技術など昨年の107者を大きく上回る138者145の技術が出展されました。さらに会場では防災学習体験コーナー、学生のための技術相談コーナー、災害対策用車両及び機械展示コーナーなども設置され、26日には名古屋大学福和伸夫教授の「東日本に学び南海トラフ巨大地震に備える」と題した講演会も行われるなど、2日間で約7,100名(速報値)が来場され盛況のうちにフェアを終了することができました。

## 『145の出展技術を紹介』

地震・津波、豪雨などの災害対策に貢献する42技術  
社会資本の維持管理、長寿命化に貢献する54技術  
災害対策、維持管理、長寿命化の両方に貢献する14技術  
基本テーマに該当する35技術



【開会式:テープカットの様子】



【会場の様子】

## 『起震車等による防災学習体験コーナー』



【地震体験車で震度7を体験】



【降雨体験車で1時間あたり300mmの豪雨を体験】



【浸水時ドアの開閉(水の圧力)を体験】

## 『講演会』



【名古屋大学福和伸夫教授による講演】

## 『災害対策用車両・機械を展示』

照明車、災害対策本部車、路面下空洞探査車等が勢揃いしました。



【近隣の幼稚園児が来場】

※開催にあたりご尽力いただきました関係各位のご協力に感謝申し上げます。